

はじめてのアトリエ

～指導の手引き～

氏名	
----	--

----- はじめに -----

オルガン科ベーシックコースの主教本『はじめてのアトリエ』と『ペダルのおけいこ』は、はじめてオルガンに触れる子どもたちが、楽しみながらオルガン奏法の基礎を習得できるようにさまざまな工夫をこらして編さんされています。

♪ アンサンブルの楽しさを広げる伴奏譜が掲載されています

各曲に先生の伴奏譜(先生がメロディーを演奏する場合はメロディー譜)が掲載され、先生と一緒にアンサンブル演奏を楽しむことができます。

♪ さまざまな音色を使うことで曲のイメージが広がります

生徒、先生の各演奏パートに推奨音色名が掲載され、初めからさまざまな音色を経験することで、曲のイメージを広げることを学びます。また音色を選んだり、組み合わせたりする楽しみも体験します。

♪ 弾く、聴く、歌う・・・さまざまな角度から学習していきます

演奏はもちろん、先生が弾いた演奏の音符を当てる、音符をなぞって書く、リズムに合わせて手拍子をする、メロディーを歌うなど、楽しみながらソルフェージュを学ぶことができます。

この「指導の手引き」では、指導の一例を記しています。指導法は、講師の方々、こどもたちの数だけあると言えます。この「指導の手引き」をもとに、生徒の年齢や進度に応じて、教本の指導・使用方法について、創意工夫を凝らした楽しいレッスンを進めていただけると幸いです。



皆さんの指導によって、またひとりオルガンを生涯の友とするオルガン愛好家を育てていただけることを願っています。









<本書の表記について>



● 内容欄













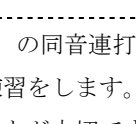
- ・「ポイント」・・・そのページで学習する項目や新出項目です。レッスンで重点的に学習するポイントとなります。
- ・「留意点」・・・上記ポイントを学習するための具体的な指導例や、生徒が実践する項目について記してあります。

ローランド株式会社 スクール運営部



ページ	タイトル、曲目	内 容	
4,5	ゆびばんごうをおぼえましょう	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・右手、左手の区別 ・指番号の認識
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストと自分の指を照合し、指番号を覚えます。 ・1-5を「ド」～「ソ」に対応できるよう、鍵盤のうえに手を置いて、イラストを参考に「ただしいてのかたち」と「ただしいしせい」を確認しましょう。 ・指番号をしっかり認識するまでには時間がかかります。その都度、確認することで、認識できるようになります。
6	ソルフェージュ① 「ド」をさがそう	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・「ド」の音、音の高低の認識
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・右手の「チョコキ」で、C#D#の黒鍵をさがし、1の指を出したところが「ド」になります。ここでは、実際に音を鳴らして、たくさんの「ド」があることと、高低を学習します。 ・自宅の楽器にいくつ「ド」があるか、宿題を出してみましょう。
7	ソルフェージュ② 「ド」をかいてみよう	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ド」 ・「ド」の音符を書く練習 ・ト音記号
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・●をUFOの形になぞらえています。今後のため、必ず加線を先に書くようにしましょう。 ・「ド」の形が認識できたら、教本の先のページをめくって「ド」を探してみましょう。しばらくは4分音符が続くので、黒く塗ることでわかりやすくしてもよいでしょう。
8	ソルフェージュ③ 5せん	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・五線 ・線と間に「○」を書く練習
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさを揃えやすいので、まずは「かん」に書くほうが容易でしょう。 ・順次進行の際に「せん」と「かん」が交互にでてくるのが、少しでも理解できれば十分です。 ・音楽ノートにもたくさん書いてみましょう。 ・早い時期から、音符を書く習慣を身につけることが大切です。
9	ソルフェージュ④ リズム	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ のリズム ・音符の絵を見ながら <ul style="list-style-type: none"> ・リズムをたたく ・歌う（「タン タン タン ウン」、または、「指番号」） ・指を動かす ・4分音符、4分休符の説明 ・指番号の確認
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・「タン タン タン ウン」のリズムが理解できたら、リズム唱と一緒に指を動かします。その際、机の上でも、空中運指でもかまいません。 ・伴奏譜の左手パートが空白になっているのは、先生も一緒に指を動かすためです。 ・いろいろなテンポ、強弱で実践してみましょう。 ・上手にできたら「タン ウン タン ウン」など、違うリズムにも挑戦しましょう。 ・マニュアル・パーカッションやドラム音の使用も効果的です。






ページ	タイトル、曲目	内 容	
10	ソルフェージュ⑤ 「レ」と「ミ」	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「レ」、「ミ」 ・「ド」「レ」「ミ」の楽譜を見ながら、 <ul style="list-style-type: none"> ・歌う ・指を動かす
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・五線上の「ド」「レ」「ミ」の位置関係（音の高低）、指番号、リズムとの関連を意識することが大切です。また、理解を深めるために、ノートに書くよう宿題を出すのもよいでしょう。
11	♪おつかい ♪ケーキ屋さん	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ のリズム ・はじめて鍵盤を弾く ・正しい手の形を学ぶ
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで初めて鍵盤に触れます。 ・P.10「レ」と「ミ」同様、「ド」「レ」「ミ」で歌ったり、指番号で歌ったりしながら、メロディーを習得しましょう。まず「ド」=1の指と覚えます。それぞれの曲をノートに書き写してみるのもよい学習でしょう。
12	ソルフェージュ⑥ おんぶを かいてみよう	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・4分音符を書く練習 ・チューリップを歌詞と階名で歌う ・「ド」「レ」「ミ」の確認
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートにも書く練習をします。その際は、ト音記号や4分休符も書いてみましょう。 ・理解度によっては、ト音記号や4分休符を上手に書けるように、ノートに点線でガイドを作ってあげましょう。今回に限らず、何度も書く機会を作りましょう。 ・「ド」「レ」「ミ」の高低を理解するために階段を使って遊ぶのも楽しいでしょう。
13	ソルフェージュ⑦ ひだりてを うごかして みよう	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・音符の絵を見ながら <ul style="list-style-type: none"> ・リズムをたたく ・歌う() ・左手の1、2、3の指を動かす
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・  でしっかり練習します。 ・ では先生と一緒に弾いてみましょう。 ・先生も左手を使って、生徒と一緒に指を動かします。教室に楽器が2台あるときは、ぜひアンサンブルしてみましょう。
14	♪まいご	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ド」「シ」「ラ」の音符 ・ヘ音記号 ・左手ではじめて鍵盤を弾く
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏と合わせて弾くと、短調の響きが明確になります。まず、曲のイメージを生徒と話しあってみましょう。状況を考えることで、曲に合ったアーティキュレーションの理解のきっかけとなることでしょう。 例えば、—まいごになったことはあるかな？ —まいごになったとき、どんな気持ちになるのかな？ ・はじめての左手奏です。ゆっくりのテンポから伴奏を弾いてください。
15	♪かえりみち	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ド」「シ」「ラ」の音符 ・ヘ音記号







ページ	タイトル、曲目	内 容	
	♪かえりみち	留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・2の指から始まるのは、難しく感じることもありますが、「まいご」とねらいは大きく変わりません。 ・最後はハ長調になります。特に触れなくても構いませんが、響きの違いに気が付くことが大切です。
16	♪かたたたき	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・右手「ド」「レ」、左手「ド」「シ」を使った曲 ・大譜表 ・はじめての両手奏 ・リピートマーク
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・大譜表が登場します。「高い音は 、低い音は  で表します」という程度の説明で十分です。 ・トントン肩たたきをするようなイメージで、同音連打を弾きます。 ・無理に指を押し付けたりしないよう、手元をよく見てあげてください。完璧でもなくてもノン・レガート奏を体験できれば十分です。
17	♪かくれんぼ	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・歌を歌いながら、イラストに隠れている音部記号や音符、休符を探すゲーム
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・歌う時に、リズムに入りきれない言葉もありますが、適宜テンポを変えてください。どこに何があるかを確認してから「かくれんぼ」を楽しむとスムーズに進みます。りすやりんごも探してみましょう。 ・見つけた記号をノートに書いて確認するのもよいでしょう。 ・まだ学習していない記号も隠れています。学習してからこのページに戻るとよいでしょう。
18	♪かがみの くに	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・右手「ド」「レ」 ・左手「ド」「シ」 ・Moderato
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・P.11「おつかい」と、P.14「まいご」は左右対称な動きをする曲です。こんどは、ひとつの曲の中に、左右対称な動きが登場します。 ・「ド」「レ」「ド」「シ」の交互奏を楽しみましょう。 ・Moderatoは、今後、度々登場します。その都度、読み方や意味を確認してください。
19	♪なみ	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・右手「ド」「レ」「ミ」 ・左手「ド」「シ」「ラ」 ・レガート奏(スラー)
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめてスラーが登場します。おだやかな波をイメージして演奏できるよう、波について生徒と話し合ってみましょう。 ・1の指の形に注意しましょう。適度に1の指を立てた手の形を意識するとうまくいきます。 ・テンポは決して速くせず、レガート奏を最優先に。
20	♪あめ	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・右手「ド」「レ」「ミ」 ・左手「ド」「シ」「ラ」 ・スタッカート



ページ	タイトル、曲目	内 容	
20	♪あめ	留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ P.19「なみ」と「あめ」は同じメロディーですが、アーティキュレーションを変える事で曲の印象が変わります。 ・「なみ」と「あめ」を交互に弾いて、その違いをしっかりと体験します。
21	ソルフェージュ⑧ せんせいが ひいたおんぷは どれかな？	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6種類の譜例から、先生が弾いたフレーズがどれかを当てるゲーム。 ・  「ド」「レ」「ミ」 ・  「ド」「シ」「ラ」 ・ 4分音符、4分休符
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひと通り弾いたり歌ったりした上で、ゲームを楽しみましょう。生徒と役割を交替して楽しむのもよいでしょう。
22	ソルフェージュ⑨ だいふひょう	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鍵盤(イラスト)の位置と大譜表の音符の理解
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一段の鍵盤の上で  と  のつながりを考えてみましょう。 ・ これから何度も出てくるので、このテキストが終わるころには、大譜表が理解できていることでしょう。 と  の「中央のド」が同じ音であることが大切です。
23	♪えんそくに いこう！	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・  のリズム ・  「ソ」 ・ 先生がメロディー、生徒がベースを担当するアンサンブル演奏
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでは、先生が伴奏、生徒がメロディーを担当してきましたが、ここでは生徒が低音を担当します。 ・ 6/8拍子のリズムを使ってみましょう (March6/8, Shuffle Pop1 など)。 ・ 先生の演奏にも耳を傾けるよう促しましょう。
24	♪ひとやすみ	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・  「ファ」「ソ」 ・ 右手「ド」「レ」「ミ」「ファ」「ソ」、左手「ド」「シ」「ラ」「ソ」 ・ 順次進行の曲 ・ レガート奏(スラー)
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ P.19「なみ」と同様、レガートの練習です。4小節目の右手「ソ」の同音連打は、押さえつけすぎたり切りすぎたりしないよう、手首を柔らかくあげる練習をします。 ・ アーティキュレーションは、先生が手本を示し、耳から伝えることが大切です。 ・ 歌った後に、どのような長さで弾いたらよいか、生徒自身に考えさせるのも効果的です。 ・ 新しい音をノートに書いてみましょう。
25	ソルフェージュ⑩ リズムを たたこう	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・    のリズム ・ 2分音符
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2分音符の長さを、きちんとキープできることが目的です。 ・ 休符を意識できるよう、4分休符のところで、「ウン」と言ったり、左足で床を踏んだりしてもよいでしょう。将来のベースを意識できます。 ・ 下段の課題は1拍目が休符になるので  のような伴奏をつけるとイメージしやすいでしょう。 ・ メトロノームの代わりに、リズムを使うのも効果的です。

ページ	タイトル、曲目	内 容	
25	なぞって みよう	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・五線上の色々な位置に書かれた音符(○)をなぞって書く練習
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・3小節目は4分音符です。 ・なぞり終わると、よく知っている曲「ぶんぶんぶん」の楽譜になります。書き終わったらドレミで歌ったり、実際に弾いたりしてみましょう。
26	♪ゴリラの うた	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・跳躍進行の曲 ・両手で一つのメロディーを演奏 ・2分音符の確認
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・メロディーが、両手に分かれ、譜表をまたがっているので読譜に注意が必要です。 ・「歌詞で歌う ⇒ 階名で歌う ⇒ リズム打ち ⇒ 弾く」というステップで学習します。
27	♪おおきな たいこ	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・強弱を意識する ・2分音符の確認
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の演奏にあわせて、まず歌ってみます。歌えたら、2分音符と4分音符の違いや、大きな音、小さな音の強弱の違いを意識するよう指導してください。 ・打楽器の音（カスタネット、ティンパニなど）を使って演奏してもよいでしょう。
28	♪ぶらんこ	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・F_2 低い「ド」 ・初めて両手同時に演奏 ・左手の新しいポジション ・全音符
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・3度の跳躍に注意しましょう。 ・4小節目「ソ」の全音符は、5の指以外が鍵盤から離れがちになる箇所です。力を抜いて、手の形をなるべく丸くできるような気を配りましょう。左手の最後の「ド」も同様です。
29	♪こいぬの マーチ	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・左手（4分音符）＋足鍵盤（全音符） ・足鍵盤の体験
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・足鍵盤「ド」の位置を覚え、手鍵盤に比べて低い音が鳴ることを体感します。 ・左手で「ド」「シ」「ラ」「ソ」を弾くことで、4拍(全音符)を数えやすくしています。 ・はじめのうちは、正しい姿勢で弾くのが難しいかもしれません。まずは、とにかく足を使った演奏にチャレンジしましょう。
30	♪よろこびの うた	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・自動伴奏を使う曲
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒パートの音域が広がり、徐々に伴奏パートの音域が狭くなってきました。ピアノの音で、さりげなくサウンドを支えましょう。 ・R.8・Beat1, R.8・Beat2, Easy Listen2 など、ビートがはっきりしているシンプルでわかりやすいリズムを選びます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>～ 自動伴奏(アレンジャー)を使う際の注意点 ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ① [Chord Intelligence] が ON になっていること ② Pedal の音色は何も選ばれていないこと <p>※[One Touch Program] を使うと便利です。選んだリズムに応じて、音色やテンポが自動的に選ばれます。</p> <p>※押さえたコードを正しく認識させるために、左手は、ノン・レガートで弾いてください。</p> </div>

ページ	タイトル、曲目	内 容	
31	ソルフェージュ⑪ せんで くぎろう	ポイント	 のリズム <ul style="list-style-type: none"> ・4/4 拍子の説明 ・楽譜を見て小節線を区切る練習
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ ♩、♪ を4つずつ区切ることで、1小節の中に4拍あることを再度説明してください。
32	ソルフェージュ⑫ せんせいが ひいたのは どれかな？	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が弾いたフレーズが、どれかを当てるゲーム
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ、すべてのフレーズを歌ったり弾いたりしておくことで、スムーズにゲームが進行します。 ・ ♪ 「ド」～「ソ」が、すべて含まれています。跳躍しているもの、そうでないものを視覚と聴覚で理解することが大切です。 ・ここでも、先生と生徒の役割を交替して楽しんでみましょう。
33	♪ちやいほのこひん	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・足鍵盤の練習「ド」「ソ」 ※先生がメロディーと伴奏を担当
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・「ド」に加えて「ソ」も出てきます。力みすぎると上手に移動できません。なるべくリラックスした状態で弾けるようにしましょう。 ・リズムは Combo, Jazz Band, March など。
34	♪崖の上のポニョ	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ ♭ 「ファ」「ソ」 ・左手で低音を弾く「ド」「ファ」「ソ」 ・自動伴奏を使う曲 ※先生がメロディーを担当 ・ Allegretto
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・左手がうまく弾けるようになったら自動伴奏を使ってみましょう。 ・歌詞をつけて歌いながら把握すると、全音符の音価をキープしやすくなります。 ・メロディーがよく聴こえるように、自動伴奏の音量を調整してください。 ・リズムは R.8-Beat 1, R.8-Beat 2 など ※自動伴奏の注意点については、前ページ（「P.30 よろこびのうた」の留意点）参照。
35	♪なかよし	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・  のリズム ・両手で平行6度奏 ・全休符 ・リピート記号
	留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい響きを聴きながら、レガート奏を意識して弾きましょう。 	
	♪おにごっこ	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・5度内で左右対称の動き
	留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・おいかけっこをするような動きです。空中運指などでしっかり予備練習をしておきましょう。同じ指づかいでも、右手と左手で違う音がすることを確認しましょう。 	
36	♪みんなで あそぼ	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習したことの確認
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめ音色で弾いたあと、Jazz Scat など、自由な音色を選んでみましょう。 ・好きなリズムに合わせて弾いてみましょう。 ・自動伴奏を使って演奏してもよいでしょう。

ページ	タイトル、曲目	内 容	
37	♪ゆうひ (バイエル11番 より)	ポイント	・レガート奏
		留意点	・楽譜が難しく見えるかもしれません。その際は、鍵盤の位置に着目するよう促してください。左右共、3度内での平行移動です。 ・2分音符が続くので、速くならないように気をつけましょう。
38	♪くさけいば	ポイント	・  のリズム ・付点2分音符 ・右手  「ラ」
		留意点	・3~4小節目は、左手の4分音符をヒントに、付点2分音符の長さを説明します。 ・  はレガートでもそうでなくても構いません。 ・7~8小節目は、可能ならレガート奏。7小節目右手1、3の指づかいに注意が必要です。 ・リズムは Simple March など。
39	♪しゃぼんだま	ポイント	・右手のポジション移動と指上げ ・右手  高い「ド」
		留意点	・2小節目ごとに、右手のポジションが変わります。 ・はじめは指番号を頼りに、ゆっくりとポジション移動しましょう。 ・これまでの曲より難しくなったので、片手ずつ練習するようにしましょう。 ・ノートに  「ド」~高い「ド」を書いてみましょう。また「しゃぼんだま」のメロディーを書き写してみましょう。
40	指揮を してみよう	ポイント	・先生の演奏に合わせて3拍子の指揮をする。
		留意点	・1拍目を意識することが大切です（強・弱・弱）。 ・生徒が上手に指揮できるようになったら、速くしたり、遅くしたりいろいろなテンポでしてみましょう。
41	♪かねのおと	ポイント	・3/4拍子 ・Andante
		留意点	・響きを感じながら、大らかな気持ちで弾きましょう。 ・リバーブを深めかけると雰囲気が出ます。 ・このテキストで唯一、Andante が登場する曲です。実際にゆっくり歩いてみて、そのテンポを感じ取ってから演奏を始めましょう。
42	♪すてきなワルツ	ポイント	・タイ
		留意点	・細かいリズムの伴奏で、楽しい雰囲気を作り出してください。 ・演奏に合わせて、先生が3拍子を指揮するのもよいでしょう。 ・リズムは Slow Waltz など。
43	♪やまのあさ	ポイント	・左手「ド」「ソ」「ミ」
		留意点	・遠く山々に響くホルンの調べです。リバーブをかけてみましょう。 ・左手の配置が難しいかもしれません。しっかり指を広げて置いてみましょう。無理にレガートにする必要はありません。むしろ1つ1つの音をはっきり区切って弾かせましょう。

ページ	タイトル、曲目	内 容	
44	♪ポップ・ゴース・ザ・ウィーズル	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 左手のリズム  Comodo
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> 左手は 1 拍目が休符になっています。この強拍をしっかり感じるよう、まずリズム打ちをしてみましょう。 右手はレガートで、左手は軽やかに弾けることです。
45	♪スケール ♪おそらに のぼろう	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 指くぐり
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> はじめはゆっくり、落ちついたテンポで練習します。 指くぐりは、机上でイメージ作りをしてから行なうとスムーズにできます。 階名唱してみましょう。
46	♪こぎつね	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 全休符 指くぐり
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> 右手は、ポジション移動があるので、指づかいに注意しましょう。 冒頭の 4 小節の演奏が困難な場合は、再度「スケール」練習をします。 なるべくレガートで演奏しましょう。
47	♪ウィーンの おんがく どけい	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 左手 5 度の重音の予備練習
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ♭ 「ド」「ソ」の音程（距離感）を確認しましょう。 メロディーを歯切れよく弾いて、楽しい雰囲気を作りましょう。
48	ソルフェージュ⑬ ♪むらのかじや	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 初めての重音（左手 5 度）
		留意点	<ul style="list-style-type: none">  のアーティキュレーションを意識することで、拍子をしっかり感じることができます。
49	せんせいが たたいたのは どれかな？	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 8 分音符（）を含んだリズム打ちとゲーム
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> 4 種類のリズムをひと通りリズム打ちしてから、ゲームに入ります。 リズム打ちの際、A~D をランダムにつなげて打つことで、初見リズム奏の練習になります。 マニュアル・パーカッションやドラムスを使っても効果的です。  =  はここで説明しなくても構いません。
50	♪もりのポルカ	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 8 分音符 左手 5 度および 6 度の重音 左手「シ」
		留意点	<ul style="list-style-type: none">  のリズムを打ち、しっかり習得してから弾き始めます。 左手の重音を弾き直す時、自然な間をとってみましょう。音価いっぱい伸ばすと力んでつまづきがちになります。 左手の 1 の指は終始「ソ」で、広げ方次第で、5 度または 6 度が決まります。5 度、6 度の違いを体得することが大切です。 リズムは Simple March など。

ページ	タイトル、曲目	内 容	
51	♪しごとはじめ (魔法の宅急便より)	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・右手  低い「シ」 ・アウフタクト ・ポジション移動
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・2、4小節目は、音符の数が減るため、速く弾いてしまいがちです。いくつ伸ばすか、りんごの絵を書き加えるなど、正確に数えられるように工夫しましょう。 ・左右の手の受け渡しをスムーズに弾きましょう。 ・両手ともにポジション移動があります。指番号のみならず、しっかり音符を読むように心がけましょう。
52	♪てを たたきましょう	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・右手のポジション移動 ・右手  「ド」～ 高い「ド」 ・8分音符を含んだメロディー
		留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・このテキストのまとめの曲です。特に右手のリズムやポジション移動に注意しながら楽しくアンサンブルしましょう。 ・8分音符は、4分音符に比べて細かいという印象から、リズムが不安定になりがちです。歌詞や「ド」「レ」「ミ」で歌いながら正しいタイミングを習得しましょう。